

# 高梁川流域 キッズ

たかはしがわりゅういき

高梁川流域の

し てい ぶん か ざい し せき

指定文化財(史跡)

こだいじゅうきよあと(おおどまりいせき)

## 古代住居跡(王泊遺跡)

新高総早倉矢井浅里  
見梁社島敷掛原口庄  
市市市町市市町

笠岡市



場所

かさおかし たかしま  
・笠岡市高島



時代

こふんじだい  
・古墳時代



指定年月日

しょうわ  
・昭和33(1958)年  
4月25日



所有

たかしま じん じゃ  
・高島神社



し せき

### この史跡について

たかしま じん じゃ けい だい じょうもん じ だい こ ふん じ だい い せき おおどまり い せき ねむ しょうわ  
高島神社の境内には、縄文時代から古墳時代にいたる遺跡(王泊遺跡)が眠っています。昭和  
18(1943)年、高島が「高島宮」跡地であるという伝承を確かめるために、地元の人たちが中心  
になって発掘調査が行われました。その後、東京大学や京都大学の人たちも発掘調査を行い、縄  
文土器の研究などで大きな成果をあげました。

ちやうさ どう しょ じゅうきよあと ぼ しょ けんざい かいすい に つ しお  
なお、調査当初に「住居跡」と考えられていた場所は、現在では海水を煮詰めて塩を作るため  
の炉跡だったと考えられています。